

福島第一原子力発電所の状況

2015年11月16日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (11/16 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.4 m ³ /h	22.8	0.4 kPa g	A系： 0.00 vol %
		炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m ³ /h	27.9	4.69 kPa g	A系： 0.06 vol %
		炉心スプレイ系：約 2.3 m ³ /h			B系： 0.05 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m ³ /h	26.6	0.27 kPa g	A系： 0.07 vol %
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.04 vol %

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (11/16 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	20.5
2号機	循環冷却システム	運転中	22.3
3号機	循環冷却システム	運転中	17.9
4号機	循環冷却システム	運転中	16.4

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘドラジンの注入を適宜実施。

[3号機]・2015/11/17 使用済燃料プール代替冷却系については、現在運転中だが、電源切替盤点検のため、11/17 5:00 から約 37 時間停止する予定。使用済燃料プール水温度は、11/16 14:00 時点で 17.9 であり、冷却停止時間における温度上昇率は 0.099 /h で、停止中の温度上昇は最大で約 4 と評価されることから、運転上の制限値 65 に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題はない。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (11/16 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2015/11/15 9:45頃 淡水化装置(RO-2)の高圧ポンプ出口付近から水が漏れいしていることを協力企業作業員が発見。また、同日 9:45 に当該装置を停止したことにより、漏えいが停止したことを確認。漏えいは、当該装置周辺に設置されている堰内に留まっており、外部への流出はない。漏えい範囲は約 1m×約 15m。漏えい拡大防止措置を実施。現場を確認した結果、当該装置高圧ポンプ出口配管の継手部から漏えいしたことを確認。漏えいした水の分析結果については、以下の通り。
 - ・セシウム 134: 3.1 × 10² Bq/L
 - ・セシウム 137: 1.3 × 10³ Bq/L
 - ・全ベータ : 2.5 × 10⁴ Bq/L
- 11/16 9:57～12:00 漏えいした水の回収作業を実施。漏えい量は、漏えい範囲等から最大約 300L と推定。漏えい原因等については、引き続き調査する。

- ・2015/11/16 10:13 ~ 14:36 6号機使用済燃料プール冷却浄化系について、計測用電源切替操作を行うため停止。冷却停止時の使用済燃料プール水温度は 20.0 であり、冷却再開時の温度は 21.5 であることから、運転上の制限値 65 に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題はないことを確認。

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/3/16 1号機原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
5/15 6:45 ~ 5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
7/17 7:06 ~ 7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

[サブドレン他水処理施設の状況]

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
9/17 ~ サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から 24 時間連続運転に切り替え実施。
- ・一時貯水タンクCの当社および第三者機関による分析結果[採取日 11/4]は同等の値であり、運用目標値を満足していたことから、11/14 10:22 より海洋への排水を開始。なお、排水状況については、10:35 に漏えい等の異常がないことを確認。その後、14:48 に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は 599m³。
- ・一時貯水タンクDの当社および第三者機関による分析結果[採取日 11/9]は同等の値であり、運用目標値を満足していたことから、11/16 10:06 より海洋への排水を開始。なお、排水状況については、10:12 に漏えい等の異常がないことを確認。その後、14:23 に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は 623m³。

[地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1 ~ 12 のサンプリングを継続実施中。

[1 ~ 3号機放水路の状況]

- 1 ~ 3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
<最新のサンプリング実績>
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて]

- < K排水路排水口のサンプリング実績 >
・今回の分析結果(採取日 11/15)については、前回の分析結果(採取日 11/14)より上昇しているが、降雨の影響により一時的に上昇したものであると推定。

[H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

- < H4エリア周辺のサンプリング実績 >
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < H6エリア周辺のサンプリング実績 >
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況]

- < 地下水観測孔・海水サンプリング実績 >
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

- < 地下貯水槽サンプリング実績 >
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。